

旭操学区の歴史

操陽村史より

この旭操学区の歴史は、平成22年7月24日に開催した「サマーフェスタ旭操2010」を記念して編纂し、会場に掲示したものです。

西 暦	年 号	事 項
1654	承応 3年	備前一带大洪水、旭川大はんらん
1669	寛文 9年	百間川を築き、岡山市街地の大水を防ぐ
1679	延宝 7年	岡山藩営上道郡倉田新田（操陽村）ができた 倉安川（新川）がつくられた
1694	元禄 7年	沖田神社を創建
1708	宝永 5年	岡山大火、延焼500戸余り
1874	明治 7年	操陽村消防組結成 現在の岡山市消防団操陽分団
1876	明治 9年	三幡に郵便局が開局され、江並郵便局となる
1879	明治 12年	岡山天神山に県舎庁が新築落成
1887	明治 20年	操南小学校（三幡村）設立
1889	明治 22年	倉田村、倉富村及び倉益村が合併して操陽村となる 初代村長 藤原佐太郎 就任
1890	明治 23年	富山小学校（富山村）設立
1892	明治 25年	岡山地方風水害 旭川大洪水
1893	明治 26年	岡山地方風水害 伝染病大流行（コレラ、腸チフス）
1894	明治 27年	日清戦争が起こる
1903	明治 36年	岡山市に電話が開通
1904	明治 37年	村に愛国婦人会が設立される
1905	明治 38年	操陽村青年会の結成
1908	明治 39年	たばこ「ゴールデンバット」発売
1911	明治 44年	西大寺軽便鉄道開通（岡山～西大寺）
1912	明治 45年	有限責任 操陽村信用購買利用組合設立

	大正 元年	7月30日より年号が大正となる
1914	大正 3年	第一次世界大戦勃発
1915	大正 4年	三幡軽便鉄道株式会社設立（三幡～岡山）
1923	大正 12年	関東大震災 中国電力により操陽村に初めて電燈がつく
1926	大正 15年	操陽村に東宮待従をご差遣される
	昭和 元年	3月25日より年号が昭和となる
1928	昭和 3年	ラジオ体操始まる 大相撲の実況ラジオ放送開始
1929	昭和 4年	農繁期に託児所が倉田、倉富、倉益地区に開設（農繁期の季節的託児所）
1933	昭和 8年	操南小学校講堂に幼稚園が開園（操南幼稚園）
1934	昭和 9年	室戸台風で大洪水とり村中大被害
1941	昭和 16年	第二次世界大戦 日本軍ハワイ空襲
1943	昭和 18年	農業団体法公布され 操陽農業会 発足
1945	昭和 20年	6月29日 岡山空襲 操陽村にも被害 8月6日 広島に原爆投下 8月15日 戦争終結
1946	昭和 21年	南海大地震 操陽地区被害甚大
1947	昭和 22年	操南中学校設立
1948	昭和 23年	操陽村農業協同組合設立
1952	昭和 27年	操陽村岡山市へ編入 操陽村役場は4月1日より操陽支所になる 操陽村消防団は岡山市消防団操陽分団として新発足 富山小学校 富山幼稚園も岡山市立となる 岡山市より上水道の給水 操陽地区263戸
1961	昭和 36年	岡山市農業協同組合誕生 操陽支所となる 地盤沈下対策事業農用地干拓事業実施 倉田、倉富、倉益の南部低湿地が乾田化
1962	昭和 37年	第17回国民体育大会が岡山県で開催
1971	昭和 46年	農免道着工 倉田、倉富、倉益の道路網整備
1974	昭和 49年	国道二号線バイパス側道が完成
1975	昭和 50年	倉富・倉益地区にトラクターミナル完成

1976	昭和 51年	台風17号岡山を襲う 倉安川流域浸水地区となる
1978	昭和 53年	主要地方道岡山一玉野線（産業道路）開通
1979	昭和 54年	岡山市立旭操小学校開設 小学校PTA設立 旭操学区連合町内会設立
1980	昭和 55年	岡山市立旭操幼稚園新設 国道二号線バイパス本線完成
1989	平成 元年	旭操学区コミュニティーハウス新設 旭操学区コミュニティー協議会設立
1999	平成 11年	旭操学区コミュニティーハウス増設
2006	平成 18年	地域安全・安心ネットワーク 「旭操セーフティーズ」発 足
2008	平成 20年	旭操学区30周年記念行事 「みんなで作ろう旭操米」
2009	平成 21年	岡山市が政令指定都市となる
2010	平成 22年	旭操小学校 ロープジャンプEX全国大会で準優勝